

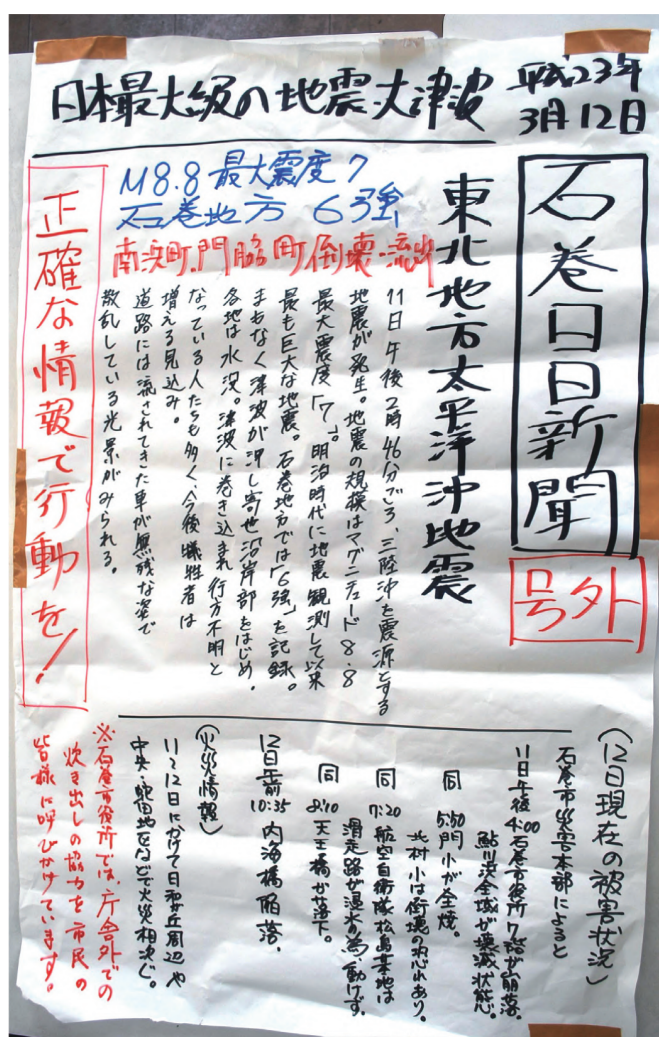
## 17 新聞をありがとう

大きな<sup>さいがい</sup>災害が起きた時に、どのように<sup>じょうほう</sup>情報を集めるか考えよう。



3月11日の地震と津波により大規模な停電が発生しました。電話やテレビ、スマホやWi-Fiなども使えなくなり、人々は石巻全体の様子を知ることができません。

そんな中、「石巻日日新聞社」は地元の住民に正確な情報を伝えようと努力しました。右がその新聞です。新聞を印刷する機械が動かない状況で自分たちが「できること」「やるべきこと」を探し、6人の記者たちが自ら歩いて集めた情報を、手書きの新聞にして伝えました。



平成23年3月12日発行 石巻日日新聞（手書き）

## ○石巻日日新聞社の取り組み

取材を続けている新聞記者に対して「石巻市内の様子はようになって  
いるのか」「電気やガスはいつ復旧するの<sup>ふっきゅう</sup>のか」といった情報<sup>じょうほう</sup>を求めてく  
る人もたくさんいました。みんな自分たちの町がどうなっているのか  
を知りたがっていました。自分たちが自ら歩いて集めた情報<sup>じょうほう</sup>を何とし  
ても人々に伝えたい。

震災<sup>しんさい</sup>の様子を後の世代の人たちに伝えることで防災意識<sup>ぼうさい い しき</sup>の向上<sup>さ</sup>や災  
害<sup>がい</sup>に強い街づくりにつながることも期待していました。

※「6枚<sup>かべ</sup>の壁新聞<sup>しんさい</sup> 石巻日日新聞・東日本大震災7日間の記録」より

手書き<sup>かべ</sup>の壁新聞の一部はアメリカにある報道博物館<sup>ほう</sup>で展示されて  
います。「電気も水道もガスもない極限<sup>きょくげん</sup>的な状況<sup>じょうきよう</sup>で情報<sup>じょうほう</sup>を伝え続け  
た彼らは、新聞記者のお手本<sup>たんどう</sup>だ」（博物館担当者）として世界的に  
も石巻日日新聞社の取り組みが高く評価<sup>ひょうか</sup>されました。

## ○情報<sup>じょうほう</sup>を知らせるために

石巻の情報<sup>じょうほう</sup>を知るために多くの人が活用  
したのがラジオでした。「ラジオ石巻」は地  
震発生直後から安否<sup>あんび</sup>情報<sup>じょうほう</sup>を伝えました。そ  
の後<sup>ふっきゅう</sup>は電気やガスなどの復旧や支えん活動  
など地域<sup>ちいき</sup>の情報<sup>じょうほう</sup>を伝えました。



### 話し合おう

- 大きな災害<sup>さいがい</sup>が起きた時にあなたならどのような方法<sup>じょうほう</sup>を使って情報を集め  
ますか。また、どんなことに注意<sup>ひつよう</sup>する必要がありますか。

-----

-----